

令和4年度 体力向上における各校の成果(小学校)

小浜市

教育委員会

No	学校名		成 果
1	小浜	小学校	運動会では6年生を中心に、練習時から開会式、閉会式までを企画運営させた。その結果、10割に近い児童が満足感を得ていた。 マラソン大会では毎時間ごとに目標を設定していった結果、目標に向けて頑張れた児童の割合が9割を超えていた。
2	雲浜	小学校	各学級で目標を設定したことによって、業間マラソンカードの学年目標を達成した児童が全体の7割近くに増加した。(昨年度2割程度) プール学習において、異学年の泳ぎを見ることで、アドバイスしたり、次の目標を立てたりする児童が見られた。 授業の導入を統一することで、先を見据えて継続的に弱点克服に向けた取り組みができています。
3	西津	小学校	目的意識をもたせる取り組みとして、「がんばりカード」を作成し、「クラスの目標→個人の目標→具体的な取り組み→ふりかえり」の形で行事に取り組んだ。また、児童アンケートで、「学校行事で、自分にあった目標を立てることができていますか。」という項目では93%、「目標に向かって取り組み、自分の伸びを実感することができていますか。」という項目では、89%の児童が肯定的な回答をしていた。 縄跳び大会に向けて、各学級の点数をグラフ化して掲示し、意欲付けにつなげた。
4	内外海	小学校	毎朝の8分間走やチャレンジジョギングを継続し、個人でカードに記録を残すことで意欲的に取り組むことができ、体力テストのシャトルランの結果で、3～6年の男女とも県平均を上回った。また、課題であった体力テストの握力の結果も、5・6年の男女とも昨年の記録を上回っており、体育の授業や委員会での握力を高める活動の成果が出始めている。
5	小浜美郷	小学校	開校から4年目を迎えるが、トコトタイムの在り方も定着し、懸命に取り組む児童が年々増えてきたように感じる。昨年度に引き続き、今年度も自己の伸びを積極的に示すことで運動に取り組む意欲向上に努めた。 また、それに加えて縦割り活動の充実を図り、上級生が下級生に運動の技術やコツを教えたり、一生懸命に取り組む姿を見せたりすることで学校全体の運動の気運をさらに高めることができた。
6	今富	小学校	一輪車の取り組みでは、一輪車記録会を設け、3年生で7割、4、5年生で9割の児童が学年目標を達成することができた。 体力向上のための業間マラソンや体育の授業始めのランニングやアップも含め、20mシャトルランでどの学年も全国平均を上回ることができた。
7	口名田	小学校	トップアスリート派遣事業により、全校児童が陸上運動の楽しさや短距離走を速く走るポイントを知り、実践することができた。 基本的な生活習慣の定着を図る「いきいきチャレンジ週間」の取組において「早く寝ることができた」、「朝食を食べた」という児童が全校の90%以上を占めた。
8	中名田	小学校	授業の準備体操の後に、5分程度キャッチボールをできるだけするようにした。 また、トップアスリート派遣事業でボール投げの授業を実施していただいた。5月測定時に比べ、記録を平均 約1.3m 伸ばすことができた。
9	加斗	小学校	マラソン大会では、最初の試走からタイムを縮めることができた児童は90%に達した。 なわとびの持久跳びでは、本番までに学年目標時間(低学年3分、中学年5分、高学年8分)を跳ぶことができた児童は、56人中52人だった。年間を通してねばり強く挑戦する態度を育てることができた。